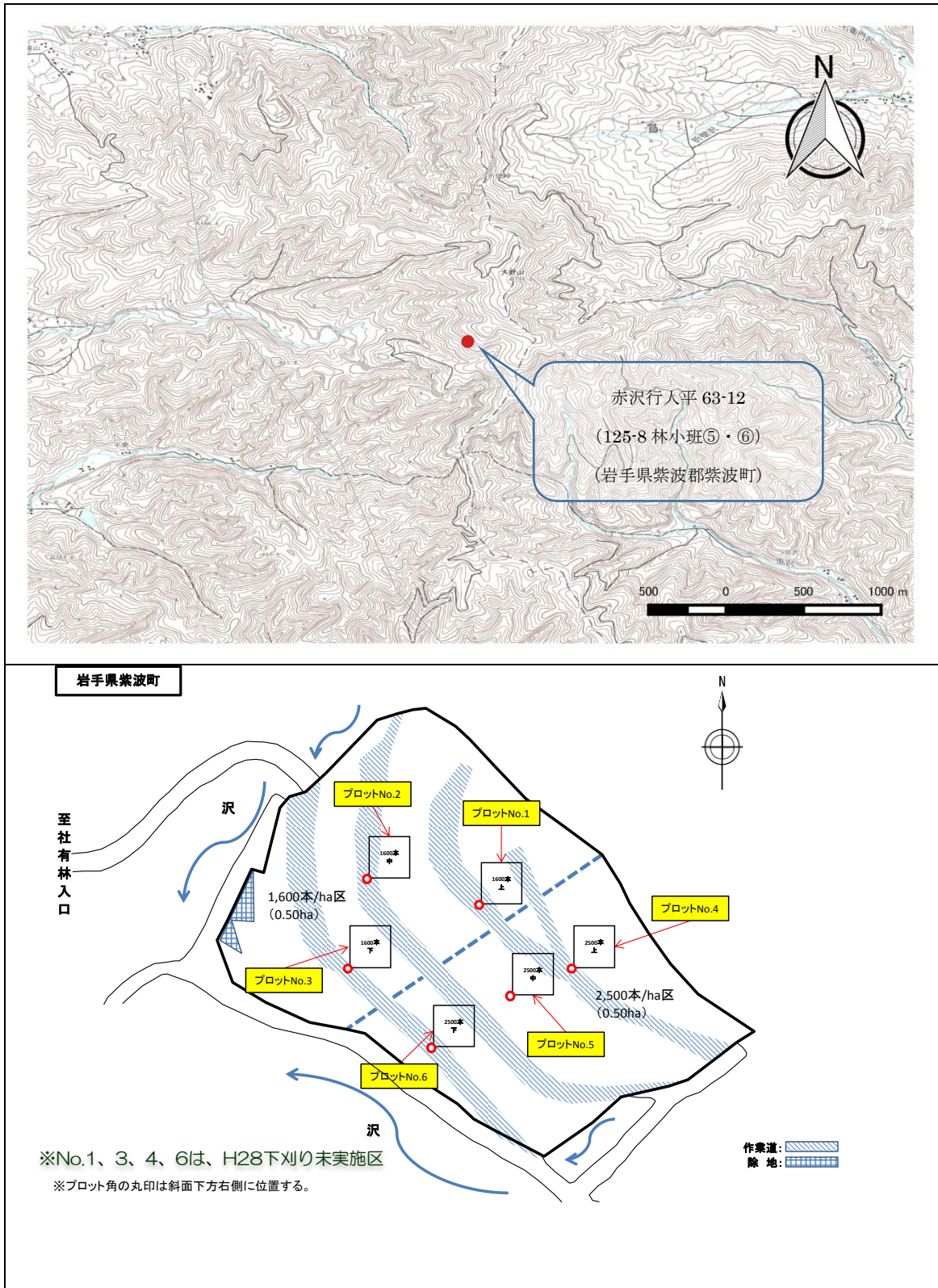


5.1. 東北地方（太平洋側）

5.1.1. 岩手県 紫波町（No.1）

（1）位置図



(2) 試験地の概要

岩手県紫波町は傾斜が緩く、作業道から近いため、平成 27 年度の植栽時には林業機械（グラップル）を使用した機械地拵えを行い効率的な地拵えが実施された。また、前生林の伐採は植栽の 1 ヶ月前であり、その後一貫作業で地拵え、植栽が実施された。

実証試験地	岩手県紫波郡紫波町赤沢行人平 125・8 林小班		
苗木種	カラマツ 150cc コンテナ苗		
植栽密度区	1,600 本/ha	2,500 本/ha	合計
植栽面積	0.50ha	0.50ha	1.00ha
植栽本数	800 本	1,250 本	2,050 本
気温/ 降水量	10.0℃（年平均気温）/ 1,239.7mm（年降水量）（平年値、紫波）		
標高/ 傾斜/ 方位	550～580m / 10～25° / SW		
土壌	乾性褐色森林土～褐色森林土		
土地所有者	株式会社イワリン		
植栽実施者	岩手県盛岡市菜園 1・3・6 ノースジャパン素材流通協同組合		
植栽日	平成 27 年 12 月 24～26 日（前生林分の伐採は H27.11）		
下刈実施者	岩手県盛岡市菜園 1 丁目 3・6 株式会社イワリン		
下刈年月日	平成 28 年 8 月 19 日 平成 29 年 8 月 4 日～5 日		

(3) 調査プロットの概要

試験地すべての下刈りを実施した。なお、一貫作業で植栽が実施されたこともあり、昨年度においては雑草木の繁茂量が少なく、2 個のプロット（No.2,5）のみ下刈りを実施している。

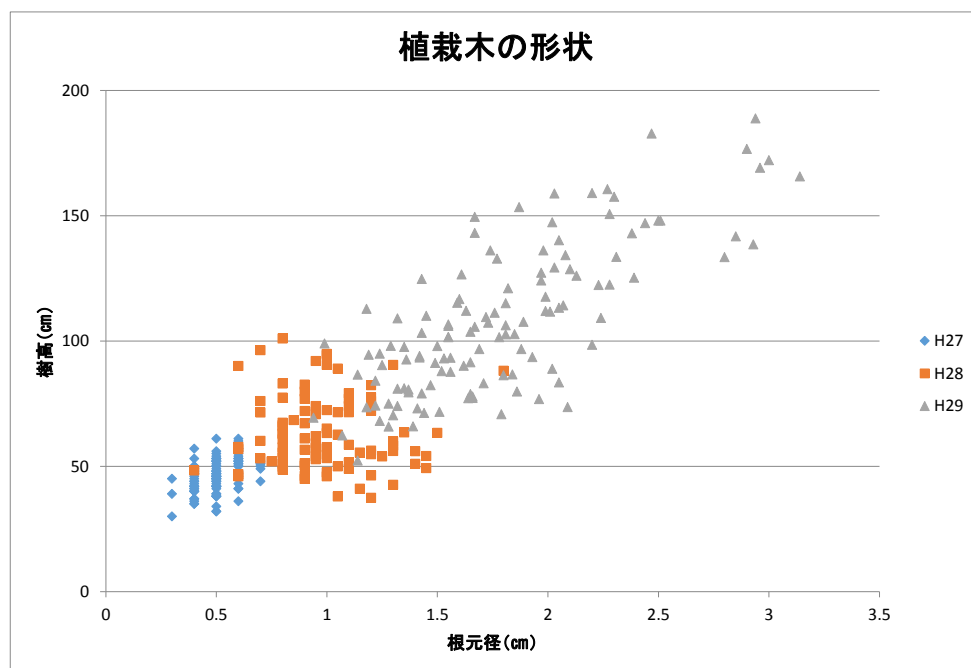
密度調査区	プロット No.	プロット形	植栽本数	H28 下刈り	備 考
1,600 本/ha	No.1	15×15m	36 本	無	斜面上部に設置
	No.2	15×15m	36 本	有	斜面中部に設置
	No.3	15×15m	41 本	無	斜面下部に設置
2,500 本/ha	No.4	12×12m	36 本	無	斜面上部に設置
	No.5	12×12m	37 本	有	斜面中部に設置
	No.6	12×12m	39 本	無	斜面下部に設置
合計			225 本		

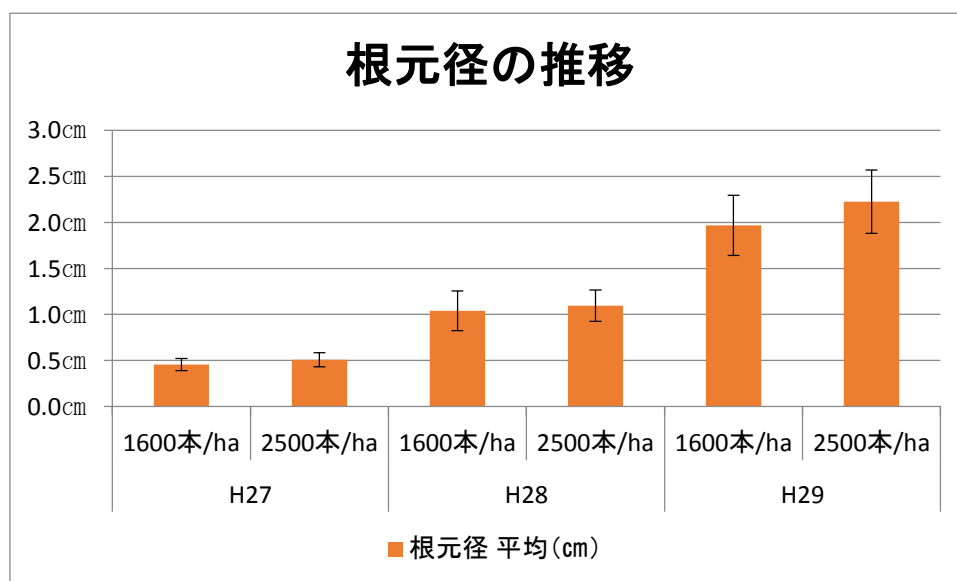
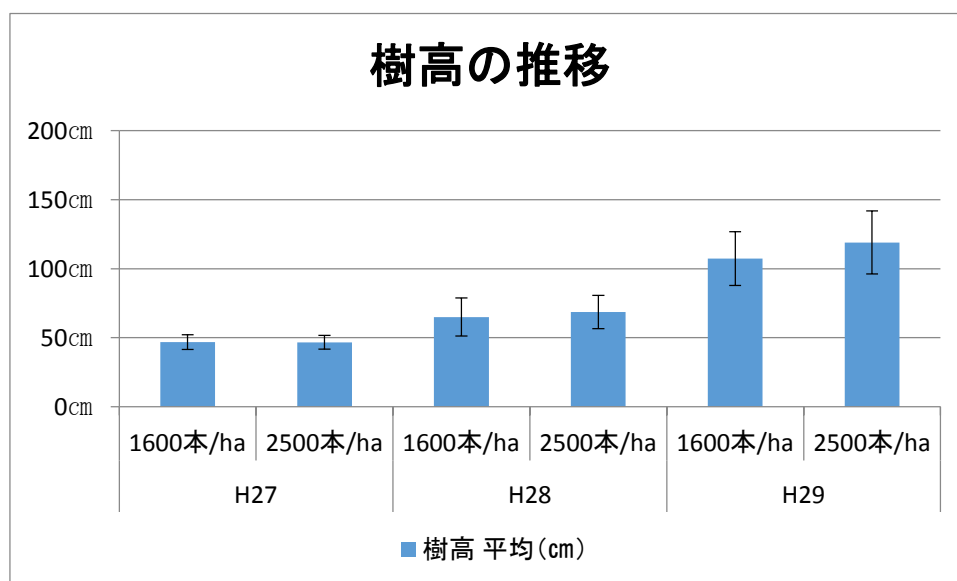
(4) 追跡調査結果

プロット内の植栽木について、植栽直後のデータから、今年度までの追跡調査結果を植栽密度別に以下に示す。また、プロット内の植栽木の成長状況及び密度ごとの樹高・根元径の3年間の推移を整理した。

①岩手県紫波町		①1600 本/ha			②2,500 本/ha		
カラマツ 150cc		H27	H28	H29	H27	H28	H29
根元径 (cm)	平均値	0.5	1.0	2.0	0.5	1.0	2.2
	標準偏差	0.1	0.3	0.3	0.1	0.2	0.3
	最小値	0.3	0.3	0.9	0.3	0.4	0.9
	最大値	0.8	1.8	3.1	0.7	1.5	3.0
樹高 (cm)	平均値	45.9	61.8	107.3	47.4	64.8	119.0
	標準偏差	5.7	15.4	19.5	5.7	13.1	22.8
	最小値	30.0	11.1	67.2	32.0	41.0	52.3
	最大値	62.0	101.0	172.1	61.0	95.1	188.8
形状比	平均値	96	64	58	96	66	60
	標準偏差	16	17	11.4	16	14	10
	最小値	59	38	35	64	40	41
	最大値	150	132	100	140	115	96

(追跡調査年月日:平成 29 年 11 月 7 日)





平均樹高では 1,600 本/ha で 107.3 cm、2,500 本/ha で 119.0 cm と 11.7 cm の差があり、5% の有意差が認められた。平均根元径では 1,600 本/ha で 2.0 cm、2,500 本/ha で 2.2 cm と 0.2 cm の差があり、1% の有意差が認められた。

(5) 下刈りの生産性

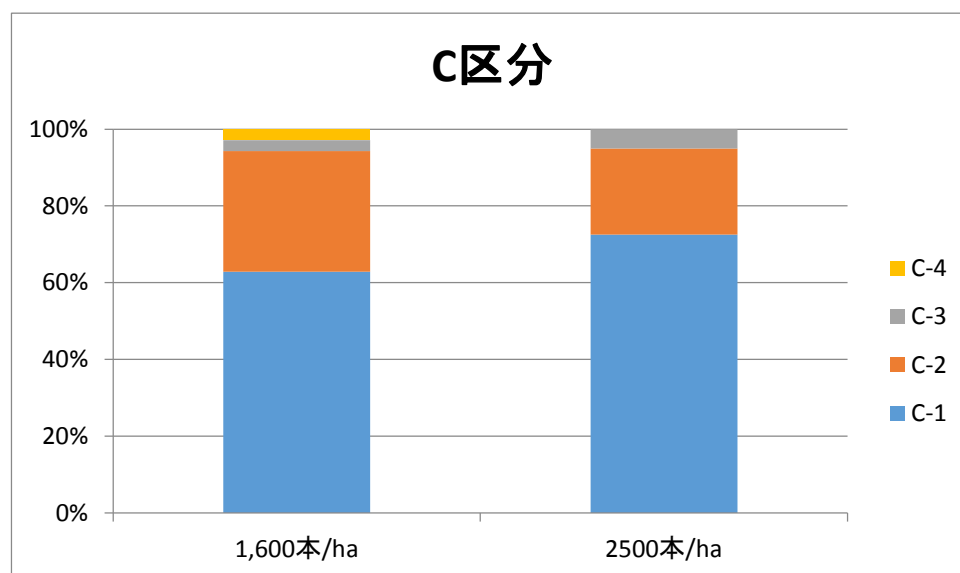
下刈りの実施面積と作業人工数を基に生産性を以下に示す。

場所	下刈り人工	使用機械	下刈り面積(ha)	生産性(人日/ha)
①岩手県紫波町	12.8	刈払い機	1.00	12.8

(注 1) 本資料は下刈り後の作業日誌を基に整理した。

林野庁の提示している標準単価の設定のための参考値（以下、林野庁参考値）では、3.8 人日/2h であり、1 日当たり 7.5 時間で換算すると、「14.25 人工」となる。そのため、林野庁の定める参考値よりも高い生産性となっている。

次に C 区分の割合を示す。



C 割合	C-1(%)	C-2(%)	C-3(%)	C-4(%)
1,600 本/ha	63	31	3	3
2,500 本/ha	73	23	5	0

下刈り前の雑草木の主要な優占種は以下のとおりである。

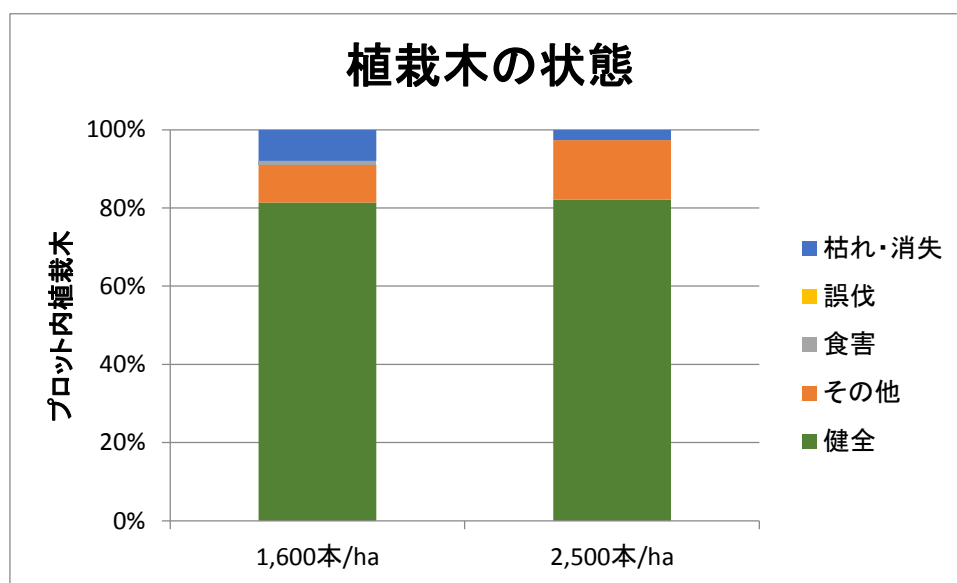
- ・アワブキ：(平均樹高 1m、平均幅 1m)
- ・ハウチワカエデ：(平均樹高 1m、平均幅 1.3m)
- ・ウリハダカエデ：(平均樹高 0.8m、平均幅 1.2m)
- ・オオバクロモジ：(平均樹高 0.6m、平均幅 0.5m)

平成 29 年 8 月の時点では、優占している雑草木は植栽木の樹高に近い値だが、C 区分では C-1、2 合わせて 90%を超えていた。

(6) 健全率と枯死率及び誤伐の発生状況

プロット内の植栽木について、健全率、枯死率等を植栽密度別に以下に示す。

植栽密度	1,600 本/ha		2,500 本/ha	
プロット内 植栽本数(本)	113		112	
	(本)	(%)	(本)	(%)
健全木	92	81	92	82
その他	11	10	17	15
食害	1	1	0	0
誤伐	0	0	0	0
枯れ・消失	9	8	3	3



※その他には、曲がりや斜立、一部枯れ等、健全に生育していないものをまとめたもの

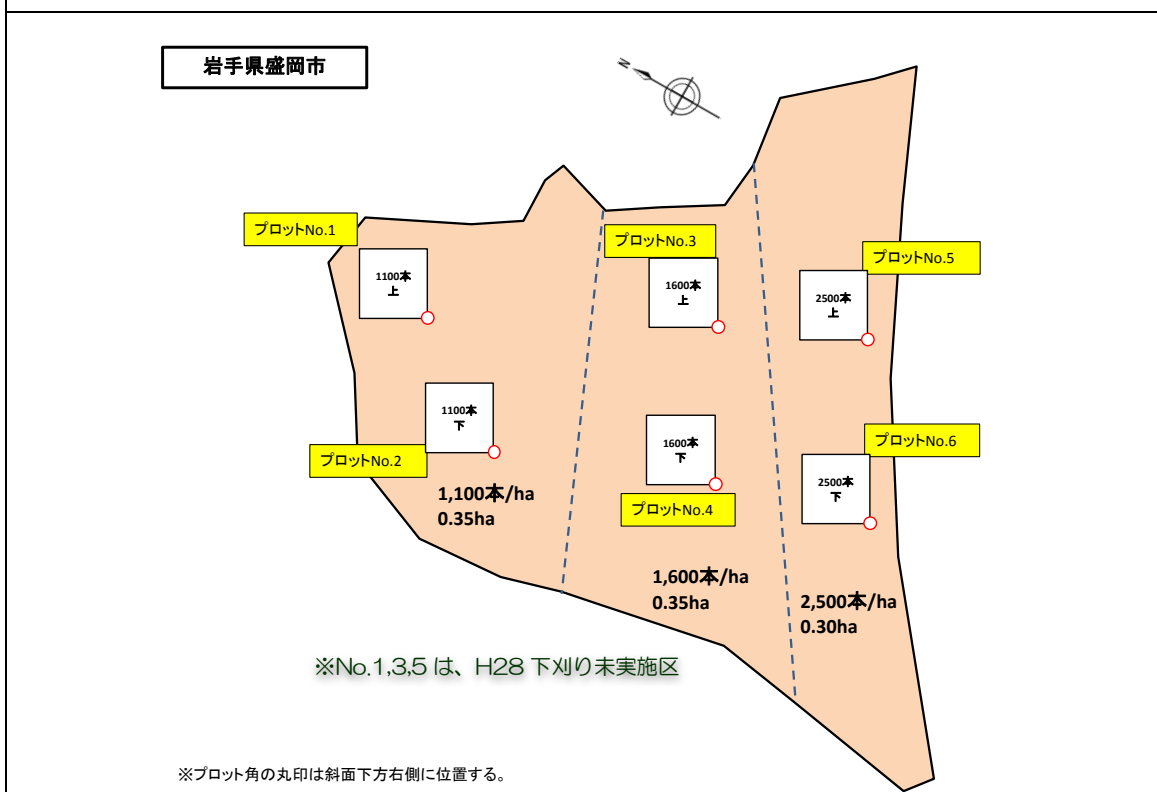
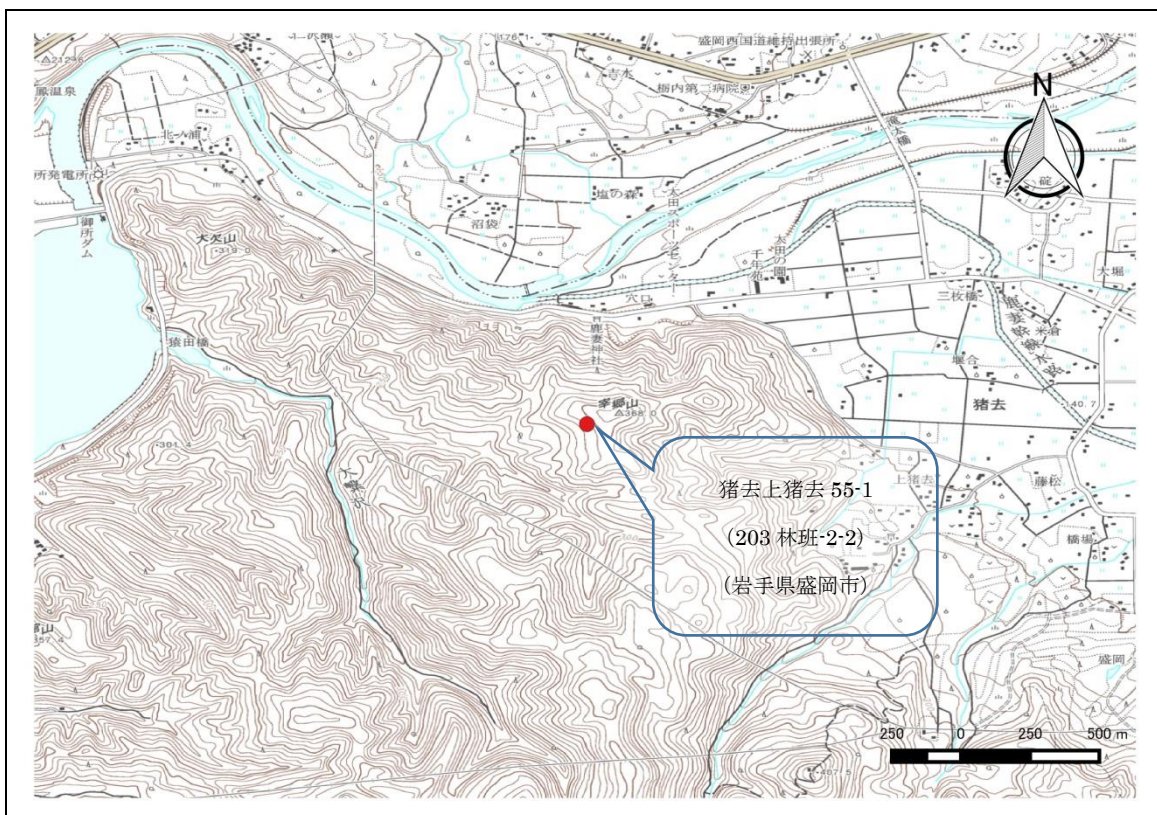
プロット内の枯死・消失本数については、1,600 本/ha で 9 本、2,500 本/ha で 3 本となっており、プロット全体においては合計 12 本の枯死・消失が確認された。また、プロット内の植栽木においては、誤伐は発生していない。枯れ・消失以外については、活着していると考え、両密度ともに 90%を超える活着率であった。

(7) 現地写真

	
植栽後 (H27.12)	下刈り後 (H28.8)
	
下刈り前 (H29.8)	下刈り後 (H29.11)
	
下刈り前 (H29.8)	下刈り後 (H29.11)

5.1.2. 岩手県 盛岡市 (No.2)

(1) 位置図



(2) 試験地の概要

実証試験地	岩手県盛岡市繫下猿田 203-2 林小班			
苗木種	カラマツ 150cc コンテナ苗			
植栽密度区	1,100 本/ha	1,600 本/ha	2,500 本/ha	合計
植栽面積	0.35ha	0.35ha	0.30ha	1.00ha
植栽本数	385 本	560 本	750 本	1,695 本
気温/ 降水量	10.2℃ (年平均気温) / 1,266.0mm (年降水量) (平年値、盛岡)			
標高/ 傾斜/ 方位	280～290m / 20° / SW			
土壌	乾性褐色森林土			
土地所有者	岩手県盛岡市東中野字五輪 7 番地 1 有限会社川又林業			
植栽実施者	岩手県盛岡市菜園 1-3-6 ノースジャパン素材流通協同組合			
植栽日	平成 27 年 11 月 30 日～12 月 2 日 (前生林分の伐採は H27.10)			
下刈り実施者	有限会社川又林業			
下刈り年月日	平成 28 年 8 月 19 日～24 日 平成 29 年 8 月 7 日～11 日			

(3) 調査プロットの概要

試験地すべての下刈りを実施した。昨年度においては、試験的に 3 個のプロット (No.1,3,5) においては下刈りを実施していない。

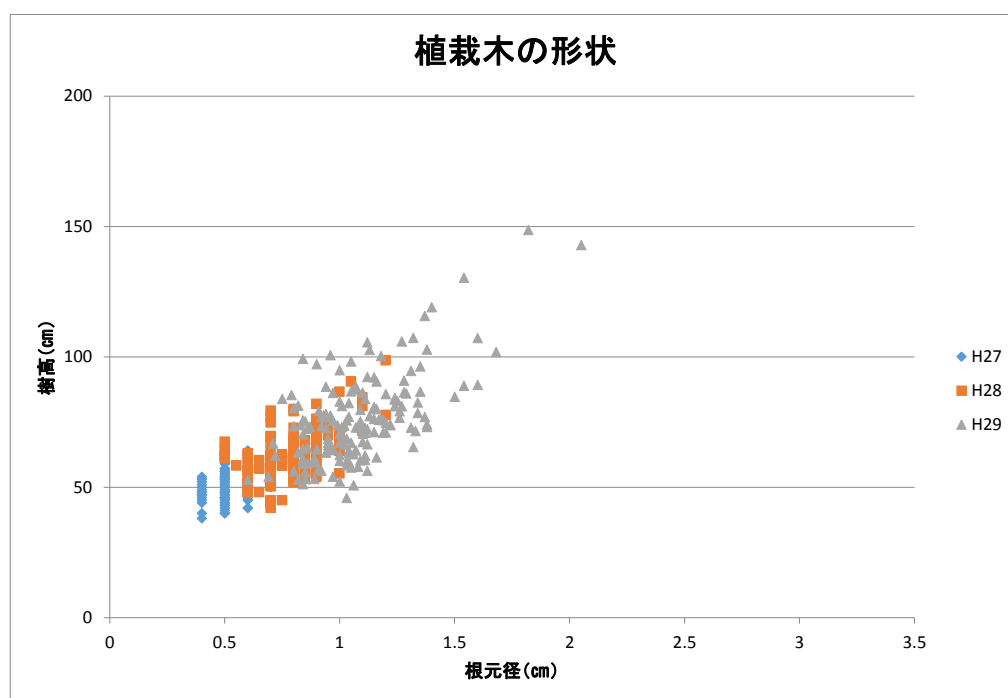
密度調査区	プロット No.	プロット形	調査本数	H28 下刈り	備 考
1,100 本/ha	No.1	18×18m	40 本	無	斜面上部に設置
	No.2	18×18m	40 本	有	斜面下部に設置
1,600 本/ha	No.3	15×15m	41 本	無	斜面上部に設置
	No.4	15×15m	37 本	有	斜面下部に設置
2,500 本/ha	No.5	12×12m	36 本	無	斜面上部に設置
	No.6	12×12m	36 本	有	斜面下部に設置
合計			230 本		

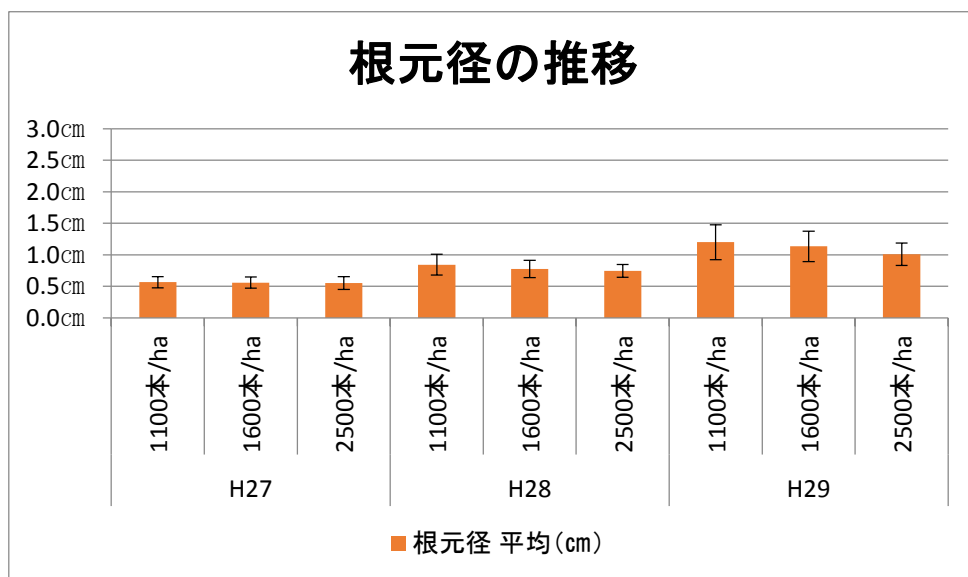
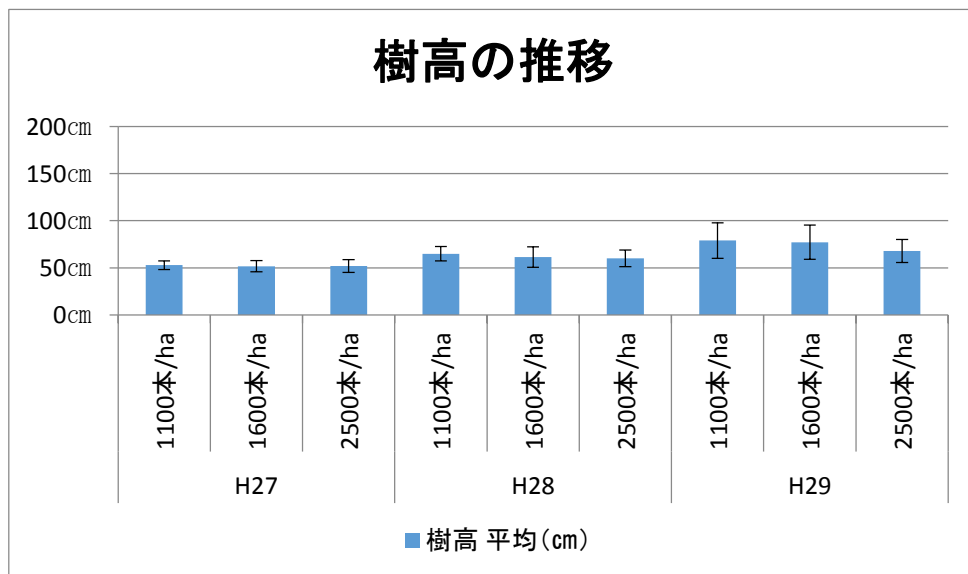
(4) 調査結果

プロット内の植栽木について、植栽直後のデータから今年度までの追跡調査結果を植栽密度別に以下に示す。また、プロット内の植栽木の成長状況及び密度ごとの樹高・根元径の3年間の推移整理したで示す。

②岩手県盛岡市		①1,100 本/ha			②1,600 本/ha			③2,500 本/ha		
カラマツ 150cc		H27	H28	H29	H27	H28	H29	H27	H28	H29
根元径	平均値	0.6	0.8	1.2	0.5	0.8	1.1	0.6	0.8	1.0
	標準偏差	0.1	0.2	0.3	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2
	最小値	0.4	0.4	0.7	0.4	0.4	0.6	0.3	0.6	0.7
	最大値	0.8	1.2	2.0	0.7	1.1	2.0	0.8	1.0	1.5
樹高	平均値	53.7	63.3	78.9	52.1	61.2	77.1	51.9	59.7	67.9
	標準偏差	5.5	8.5	18.8	5.7	9.9	18.2	6.2	8.3	12.4
	最小値	38.0	41.0	53.9	40.0	41.6	52.2	38.0	42.1	45.9
	最大値	64.0	98.6	148.6	64.0	90.5	130.3	64.0	80.0	102.6
形状比	平均値	100	81.5	70	98	81	74	93	80	70
	標準偏差	15	18	12	15	14	14	16	12	13
	最小値	65	51	53	70	55	50	69	60	45
	最大値	138	140	118	135	128	112	143	113	108

(追跡調査年月日:平成 29 年 11 月 9 日)





平均樹高では 1,100 本/ha で 78.9 cm、1,600 本/ha で 77.1 cm、2,500 本/ha で 67.9 cm、であり、植栽密度が高い方が平均樹高が低い結果となったが、有意差は認められなかった。同様に平均根元径でも同様の傾向が見られたが、1,100 本/ha と 2,500 本/ha に 1%の有意差が認められた。

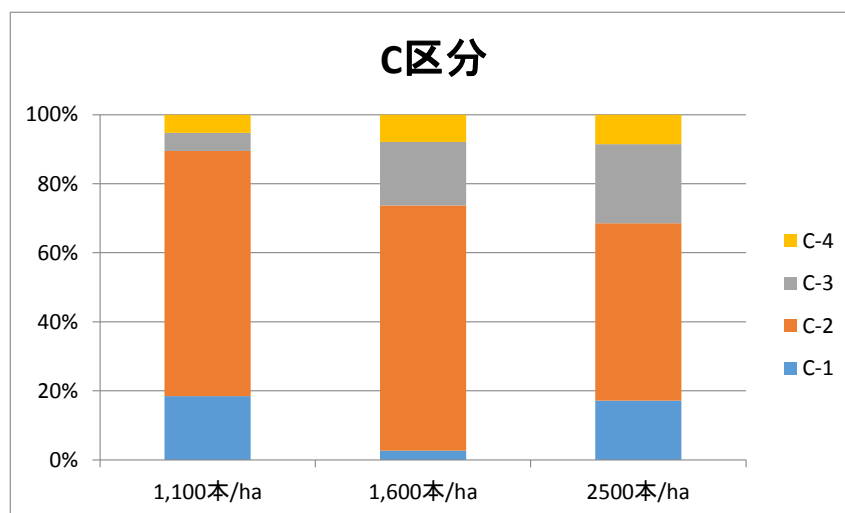
(5) 下刈りの生産性

下刈りの実施面積と作業人工数をもとに生産性を以下に示す。

場所	下刈り人工	使用機械	下刈り面積(ha)	生産性(人日/ha)
②岩手県盛岡市	12.0	刈払い機	1.00	12.0

(注 1) 本資料は下刈り後の作業日誌を基に整理した。

林野庁参考値では 14.25 人工であり、林野庁の定める参考値に近い生産性となっている。
次に C 区分の割合を示す。



	C-1(%)	C-2(%)	C-3(%)	C-4(%)
1,100 本/ha	18	71	5	5
1,600 本/ha	63	31	3	3
2,500 本/ha	73	23	5	0

下刈り前の雑草木の主要な優占種は以下のとおりである。

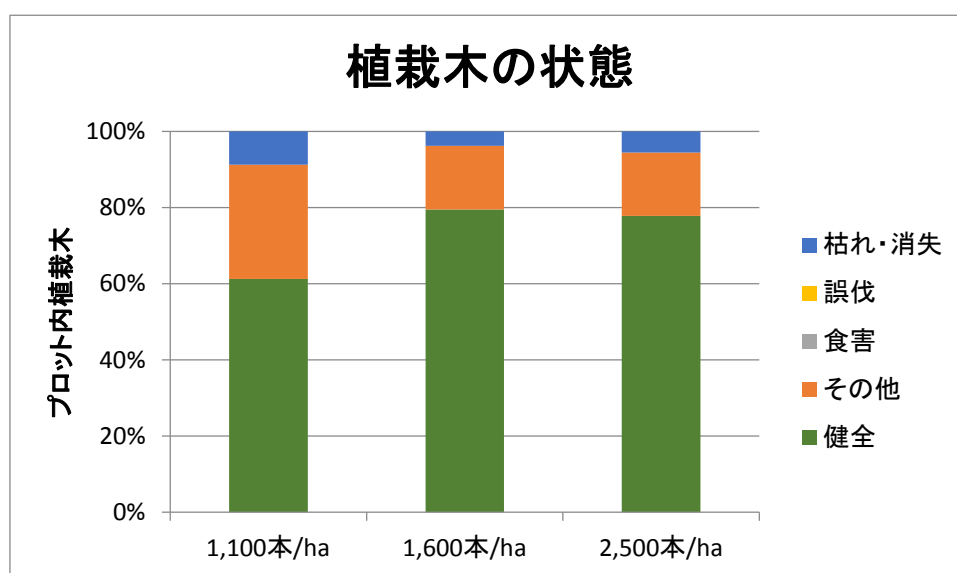
- ・クマイザサ：(平均樹高 0.3m、平均幅 1m)
- ・アカマツ：(平均樹高 0.4m、平均幅 0.4m)
- ・ミヤマガマズミ：(平均樹高 0.8m、平均幅 0.9m)
- ・ハウノキ：(平均樹高 1.2m、平均幅 1.3m)

平成 29 年 8 月時点では、優占している雑草木は植栽木の樹高に近い値だが、C 区分では C-1、2 を合わせて 60%を超えており、1,100 本/ha においては概ね 90%であった。

(6) 健全率と枯死率及び誤伐の発生状況

プロット内の植栽木について、健全率、枯死率等を植栽密度別に以下に示す。

植栽密度	1,100 本/ha		1,600 本/ha		2,500 本/ha	
プロット内 植栽本数(本)	80		78		72	
	(本)	(%)	(本)	(%)	(本)	(%)
健全木	49	61	62	79	56	78
その他	24	30	13	17	12	17
食害	0	0	0	0	0	0
誤伐	0	0	0	0	0	0
枯れ・消失	7	9	3	4	4	6



※その他は、曲がりや斜立、一部枯れ等、健全に生育していないものをまとめたもの

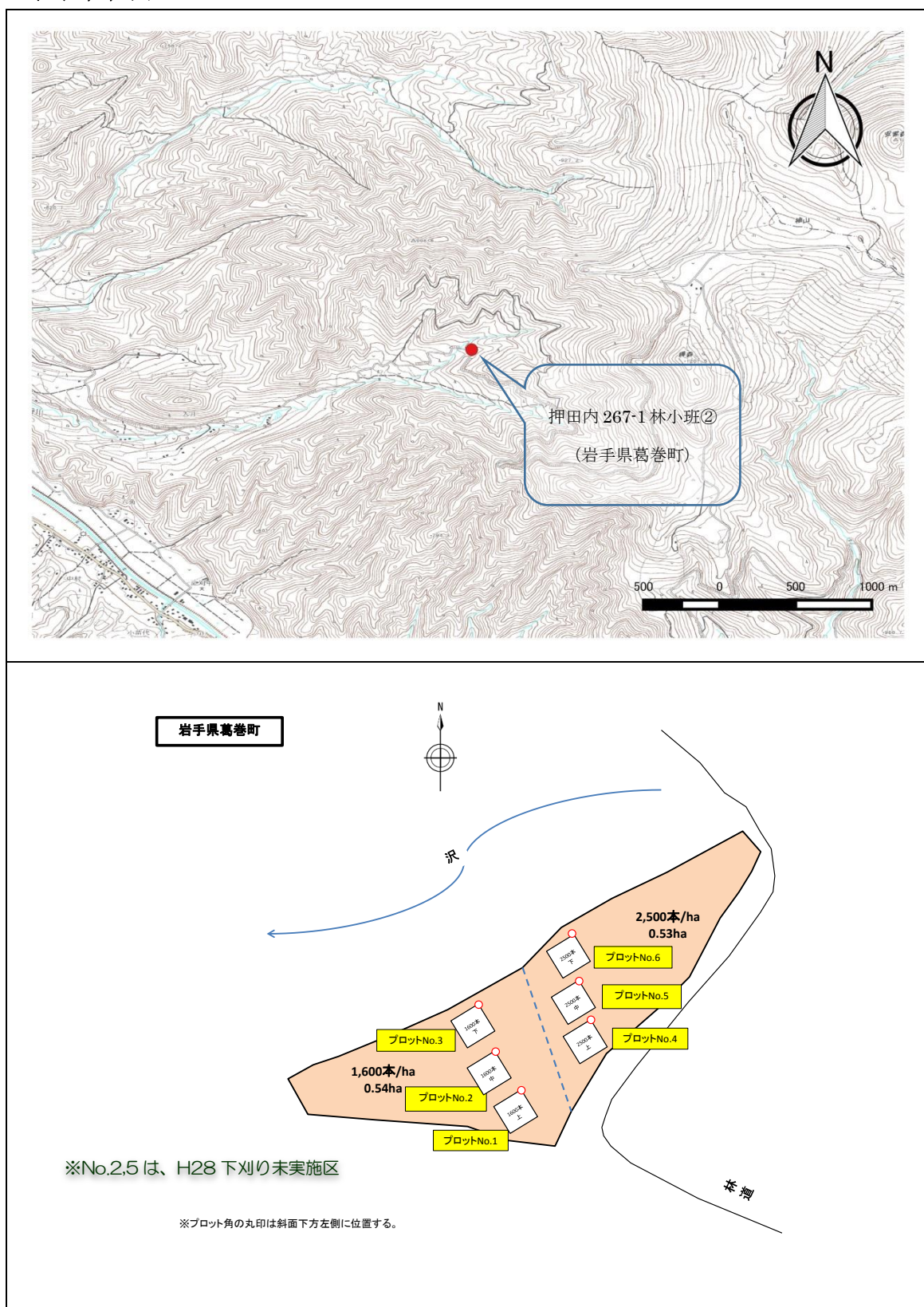
プロット内の枯死・消失本数については、1,100 本/ha で 7 本、1,600 本/ha で 3 本、2,500 本/ha で 4 本となっており、合計 14 本の枯死が確認された。また、プロット内の植栽木においては、誤伐は発生していない。枯れ・消失以外については活着していると考ええると 3 密度全てで 90%を超える活着率であった。

(7) 現地写真

	
植栽後 (H27.12)	下刈り前 (H28.7)
	
下刈り前 (H29.8)	下刈り後 (H29.11)
	
下刈り前 (H29.11)	下刈り後 (H29.11)

5.1.3. 岩手県 葛巻町 (No.3)

(1) 位置図



(2) 試験地の概要

実証試験地	岩手県葛巻町押田内 267・1 林小班		
苗木種	カラマツ 150cc コンテナ苗		
植栽密度区	1,600 本/ha	2,500 本/ha	合計
植栽面積	0.54ha	0.53ha	1.07ha
植栽本数	864 本	1,325 本	2,189 本
気温/ 降水量	8.4℃ (年平均気温) / 1,008.7mm (年降水量) (平年値、葛巻)		
標高/ 傾斜/ 方位	220～250m / 10～15° / NW		
土壌	乾性褐色森林土～褐色森林土		
土地所有者	(個人所有者)		
植栽実施者	岩手県岩手郡葛巻町葛巻 14・37 葛巻森林組合		
植栽日	平成 27 年 11 月 16～18 日 (前生林分の伐採は H25.11)		
下刈実施者	葛巻森林組合		
下刈年月	平成 28 年 8 月 25 日～26 日 平成 29 年 9 月 11 日		

(3) 調査プロットの概要

試験地すべての下刈りを実施した。昨年度においては、試験的に 2 個のプロット (No.2,5) で下刈りを実施していない。

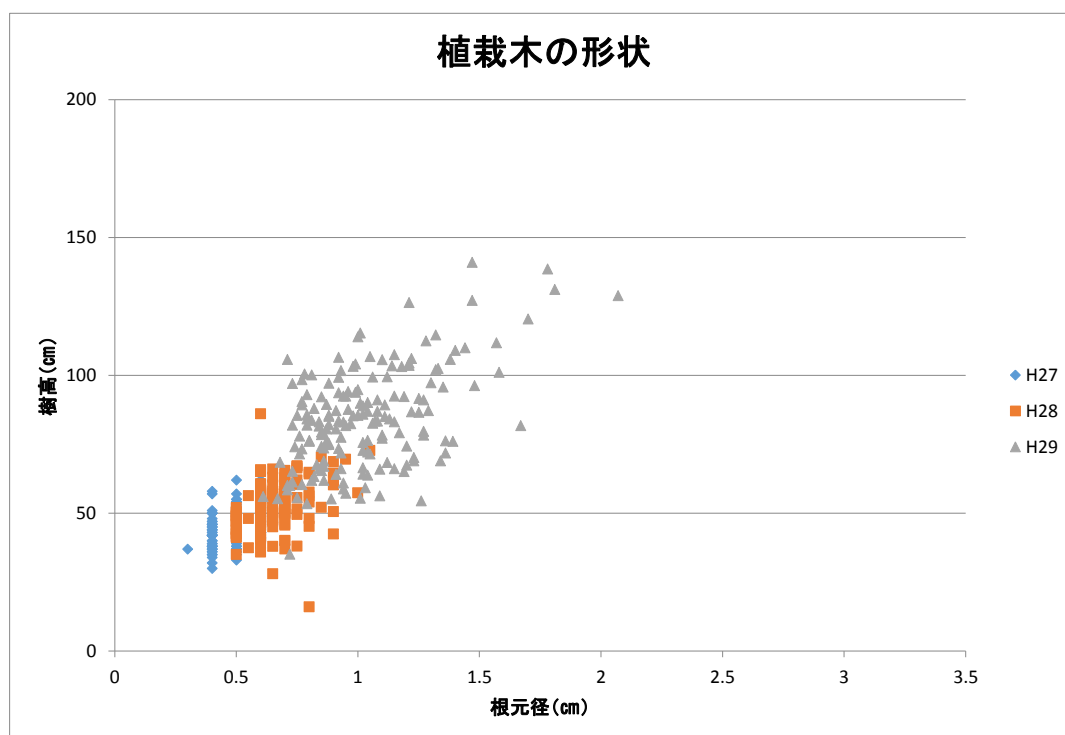
密度調査区	プロット No.	プロット形	調査本数	H28 下刈り	備 考
1,600 本/ha	No.1	15×15m	41 本	有	斜面上部に設置
	No.2	15×15m	40 本	無	斜面中部に設置
	No.3	15×15m	36 本	有	斜面下部に設置
2,500 本/ha	No.4	12×12m	36 本	有	斜面上部に設置
	No.5	12×12m	40 本	無	斜面中部に設置
	No.6	12×12m	42 本	有	斜面下部に設置
合計			235 本		

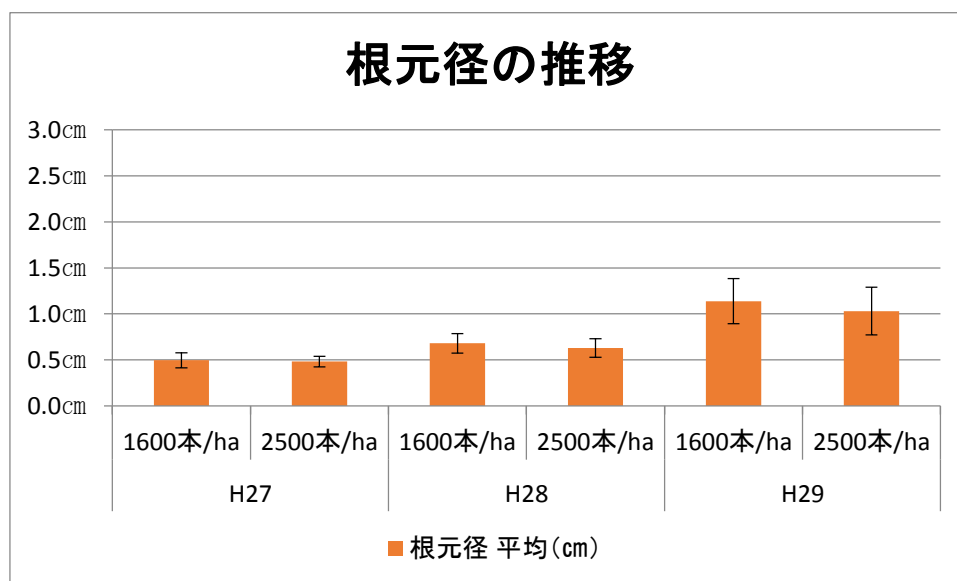
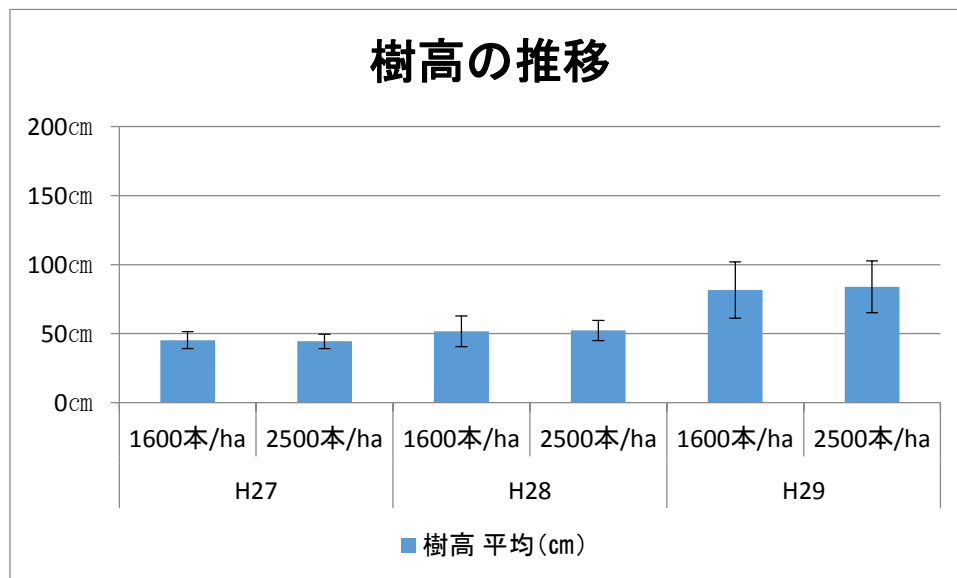
(4) 調査結果

プロット内の植栽木について、植栽直後のデータから、今年度までの追跡調査結果を植栽密度別に以下に示す。また、プロット内の植栽木の成長状況及び密度ごとの樹高・根元径の3年間の推移を整理した。

③岩手県葛巻町		①1600 本/ha			②2,500 本/ha		
カラマツ 150cc		H27	H28	H29	H27	H28	H29
根元径	平均値	0.5	0.7	1.1	0.5	0.6	1.0
	標準偏差	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3
	最小値	0.3	0.4	0.7	0.4	0.4	0.6
	最大値	0.7	1.1	1.8	0.6	1.0	2.1
樹高	平均値	45.9	52.5	81.6	43.9	51.4	84.0
	標準偏差	5.7	10.3	20.4	5.9	9.9	18.8
	最小値	30.0	16.0	35.2	32.0	13.0	55.3
	最大値	62.0	86.0	141	57.0	73.1	131.2
形状比	平均値	95	81	79	94	84	89
	標準偏差	17	17	17	14	16	19
	最小値	60	20.0	43	64	22	51
	最大値	145	143	133	135	122	149

(追跡調査年月日:平成 29 年 11 月 6 日)





平均樹高では、1,600 本/ha で 81.6 cm、2,500 本/ha で 84.0 cm と 2.4 cm の差があるが、密度による有意差は認められなかった。平均根元径では 1,600 本/ha で 1.1 cm、2,500 本/ha で 1.0 cm と 0.1 cm ほどの差であるが、5% の有意差が認められた。

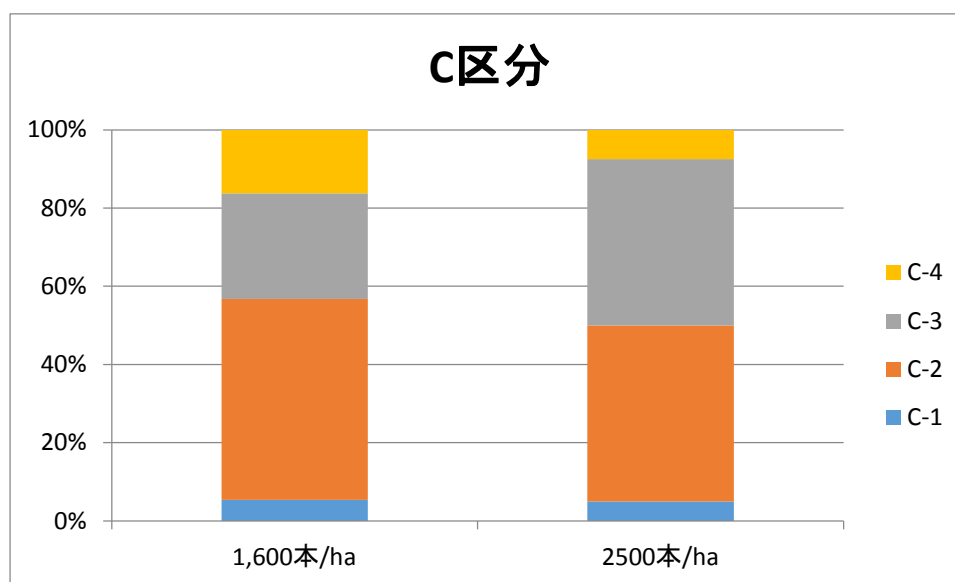
(5) 下刈りの生産性

下刈りの実施面積と作業人工数をもとに生産性を以下に示す。

場所	下刈り人工	使用機械	下刈り面積(ha)	生産性(人日/ha)
③岩手県葛巻町	11.07	刈払い機	1.07	10.34

(注 1) 本資料は下刈り後の作業日誌を基に整理した。

林野庁参考値では 14.25 人工であり、林野庁の定める参考値に近い生産性であった。
次に C 区分の割合を示す。



	C-1(%)	C-2(%)	C-3(%)	C-4(%)
1,600 本/ha	5	51	27	16
2,500 本/ha	5	45	43	8

下刈り前の雑草木の主要な優占種は以下のとおりである。

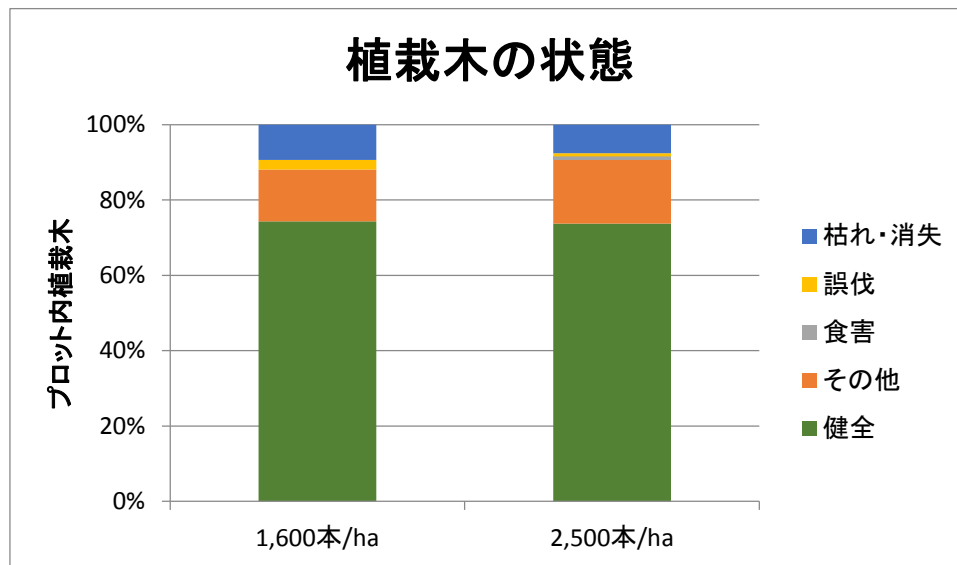
- ・タラノキ (平均樹高 1.1m、平均幅 1m)
- ・ハウノキ (平均樹高 1.1m、平均幅 0.9m)
- ・ヤマブキショウマ (平均樹高 1.1m、平均幅 0.7m)
- ・アカイタヤ (平均樹高 1.1m、平均幅 0.8m)

平成 29 年 8 月の時点では、優占している雑草木は植栽木の樹高を超えており、C 区分では C-1、2 合わせて 50%ほどであった。

(6) 健全率と枯死率及び誤伐の発生状況

プロット内の植栽木について、健全率、枯死率等を植栽密度別に以下に示す。

植栽密度	1,600 本/ha		2,500 本/ha	
プロット内 植栽本数(本)	117		118	
	(本)	(%)	(本)	(%)
健全木	87	74	87	74
その他	16	14	20	17
食害	0	0	1	1
誤伐	3	3	1	1
枯れ・消失	11	9	9	8



※その他は、曲がりや斜立、一部枯れ等、健全に生育していないものをまとめたもの

プロット内の枯死・消失本数については、1,600 本/ha で 11 本、2,500 本/ha で 9 本となっており、合計 20 本の枯死が確認された。また、プロット内の植栽木において、誤伐は 1,600 本/ha で 3 本、2,500 本/ha で 1 本発生した。枯れ・消失以外については活着していると考えると両密度ともに 90%を超える活着率であった。

(7) 現地写真

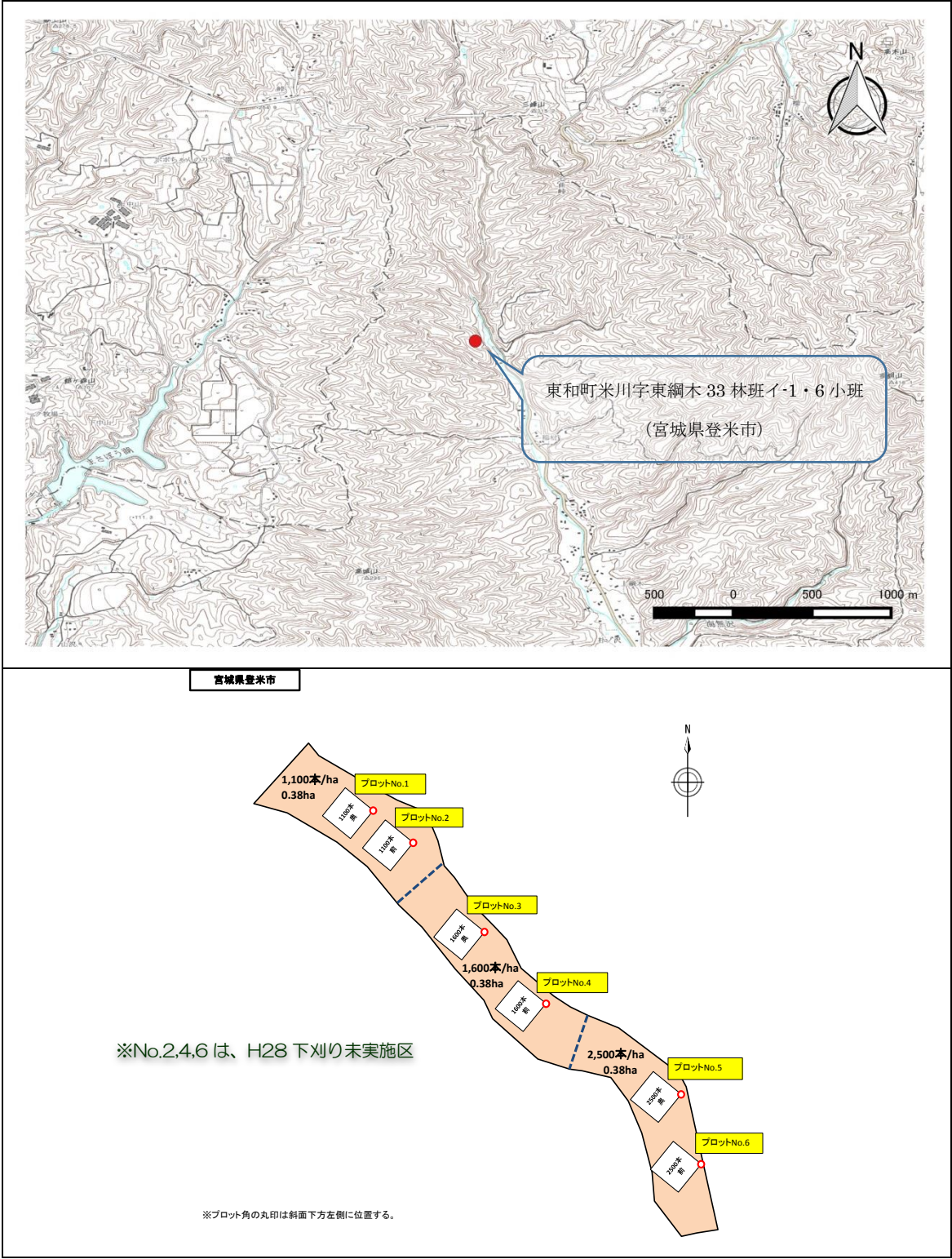
	
作業前 (H27)	植栽後 (H27.11)

	
下刈り前 (H28.8)	下刈り後 (H28.8)

	
下刈り前 (H29.8)	下刈り後 (H29.11)

5.1.4. 宮城県 登米市 (No.4)

(1) 位置図



(2) 試験地の概要

宮城県東和町は、平成 27 年度に多数の植栽木が獣害を受け、そのほとんどが枯死した。そのため平成 28 年度業務で、補植作業を実施し、更に忌避剤を使用した獣害対策を実施している。

実証試験地	宮城県登米市東和町米川字東綱木 33 林班イ・1・6 小班			
苗木種	スギ 150cc コンテナ苗			
植栽密度区	1,100 本/ha	1,600 本/ha	2,500 本/ha	合計
植栽面積	0.38ha	0.38ha	0.38ha	1.14ha
植栽本数	418 本	608 本	950 本	1,976 本
気温/ 降水量	11.1℃(年平均気温) / 1068.8mm (年降水量) (平年値、米山)			
標高/ 傾斜/ 方位	100～130m / 38° / NE			
土壌	乾性褐色森林土～褐色森林土			
土地所有者	宮城県登米市中田町上沼字西桜庭 8 登米市役所中田支所農林政策課			
植栽実施者	宮城県登米市東和町米川字小田 110-1 東和町森林組合			
植栽日	平成 27 年 12 月 8～11 日 (前生林分の伐採は H24.10)			
補植日	平成 28 年 10 月 7 日			
忌避剤散布	平成 28 年 10 月 25 日			
下刈実施者	東和町森林組合			
下刈年月日	平成 28 年 8 月 25 日、26 日 平成 29 年 9 月 19 日～21 日			

(3) 調査プロットの概要

試験地すべての下刈りを実施した。昨年度において試験的に 3 つのプロット (No.2,4,6) のみ下刈りを実施していない。

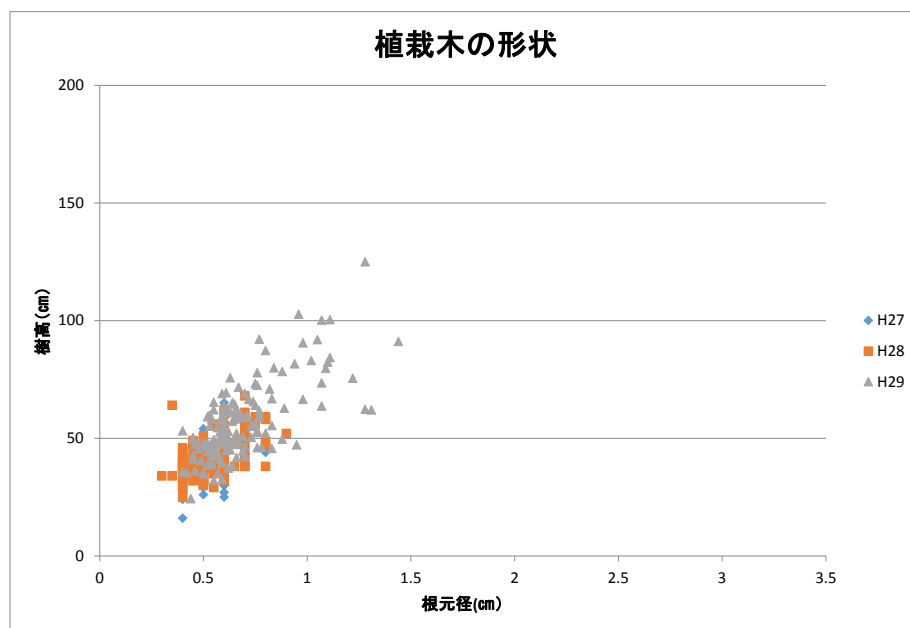
密度調査区	プロット No.	プロット形	調査本数	H28 下刈り	備 考
1,100 本/ha	No.1	18×18m	39 本	有	1,100 本区奥側に設置
	No.2	18×18m	36 本	無	1,100 本区前側に設置
1,600 本/ha	No.3	15×15m	35 本	有	1,600 本区奥側に設置
	No.4	15×15m	36 本	無	1,600 本区前側に設置
2,500 本/ha	No.5	12×12m	35 本	有	2,500 本区奥側に設置
	No.6	12×12m	37 本	無	2,500 本区前側に設置
合計			218 本		

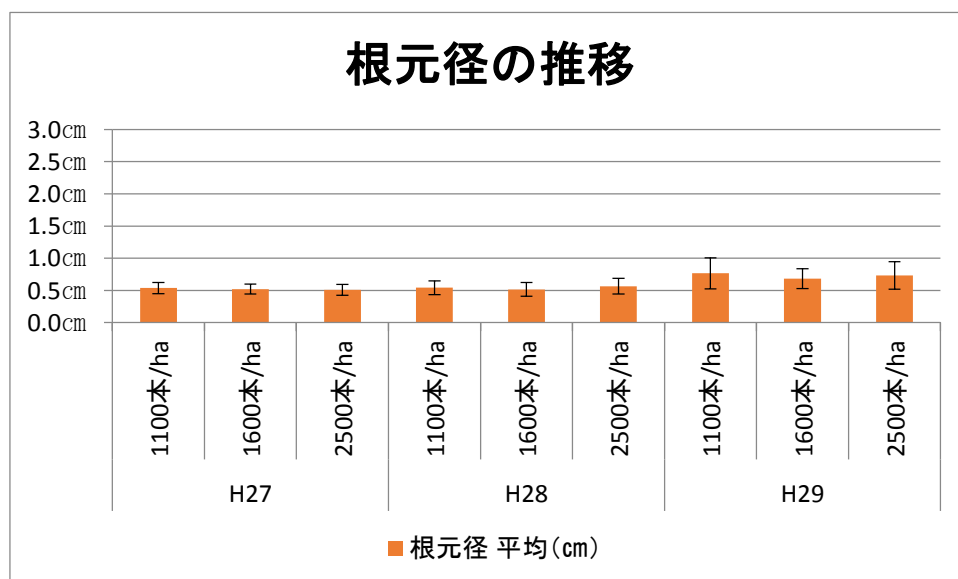
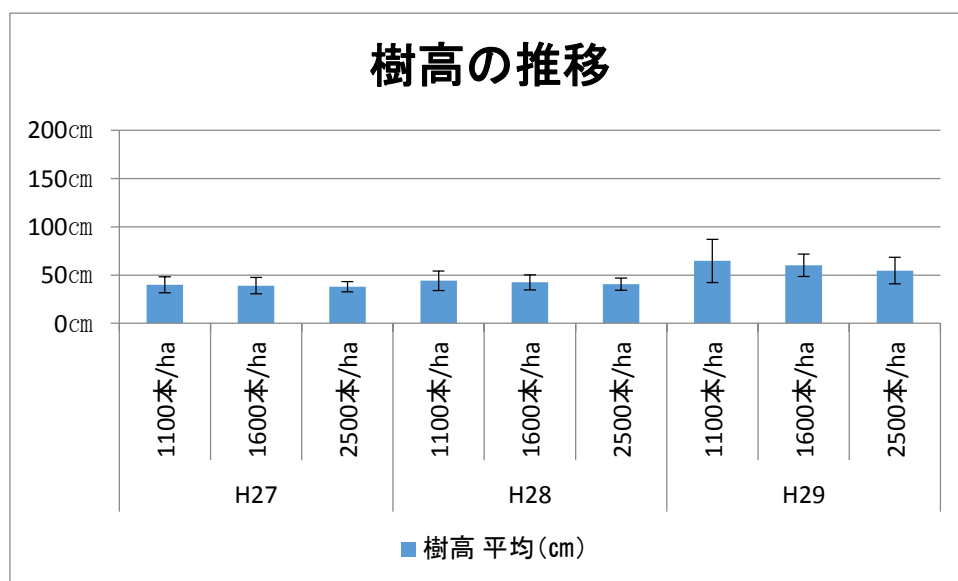
(4) 調査結果

プロット内の植栽木について、植栽直後のデータから、今年度までの追跡調査結果を植栽密度別に以下に示す。また、プロット内の植栽木の成長状況及び密度ごとの樹高・根元径の3年間の推移を整理した。なお、前述のとおり昨年度に補植をしているため、H27の計測値は参考値として網掛けで区別した。

④宮城県登米市		①1,100 本/ha			②1,600 本/ha			③2,500 本/ha		
スギ 150cc		H27	H28	H29	H27	H28	H29	H27	H28	H29
根元径	平均値	0.5	0.5	0.8	0.5	0.5	0.7	0.5	0.5	0.7
	標準偏差	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2
	最小値	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.5	0.4	0.3	0.4
	最大値	0.8	0.9	1.4	0.7	0.8	1.1	0.8	0.9	1.3
樹高	平均値	39.7	41.5	64.7	39.1	40.3	60.1	39.6	41.9	54.6
	標準偏差	8.1	9.0	22.3	8.4	7.8	11.7	7.0	7.3	13.8
	最小値	26.0	25.0	24.3	13.0	19.0	36.1	24.0	25.0	32.6
	最大値	61.0	68.0	125	65.0	60.0	100.2	57.0	62.0	92.1
形状比	平均値	79	80	81	79	81	87	78	79	84
	標準偏差	14	18	13	18	17	15	14	17	19
	最小値	45	53	49	33	38	60	50	31	47
	最大値	113	183	107	117	115	120	110	115	132

(追跡調査年月日:平成 29 年 11 月 8 日)





平成 28 年度に補植しており、成長量が小さいため、樹高及び根元径の有意差は認められなかった。

(5) 下刈りの生産性

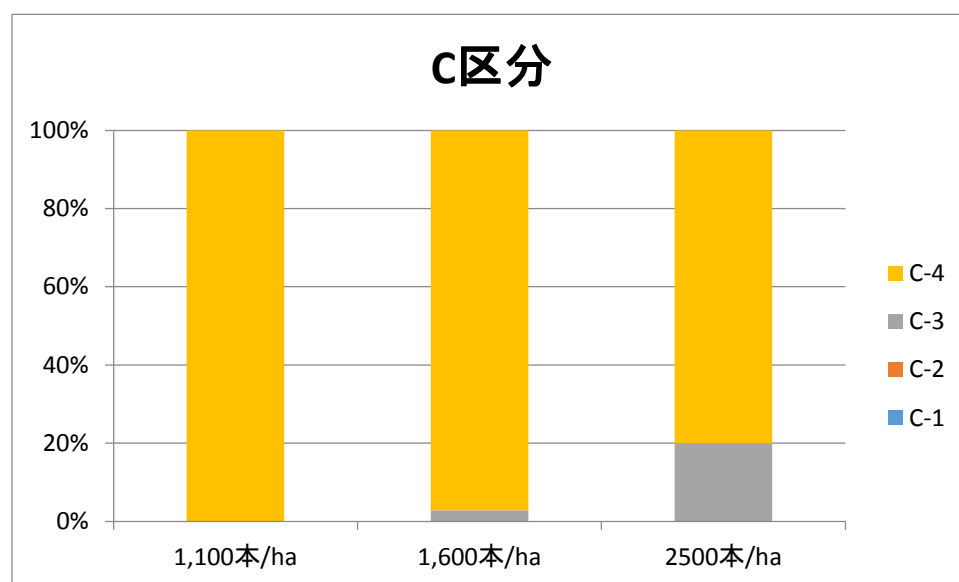
下刈りの実施面積と作業人工数をもとに生産性を以下に示す。

場所	下刈り人工	使用機械	面積(ha)	生産性(人日/ha)
④宮城県登米市	8.8	刈払機	1.14	7.72

(注 1)本資料は下刈り後の作業日誌を基に整理した。

林野庁参考値では 14.25 人工であり、林野庁の定める参考値よりも高い生産性となっている。

次に C 区分の割合を示す。



	C-1(%)	C-2(%)	C-3(%)	C-4(%)
1,100 本/ha	0	0	0	100
1,600 本/ha	9	3	66	23
2,500 本/ha	0	8	35	57

下刈り前の雑草木の主要な優占種は以下のとおりである。

- ・クマイチゴ（平均樹高 1.7m、平均幅 1m）
- ・タケニグサ（平均樹高 1.9m、平均幅 0.6m）
- ・アワブキ（平均樹高 1.6m、平均幅 1.2m）

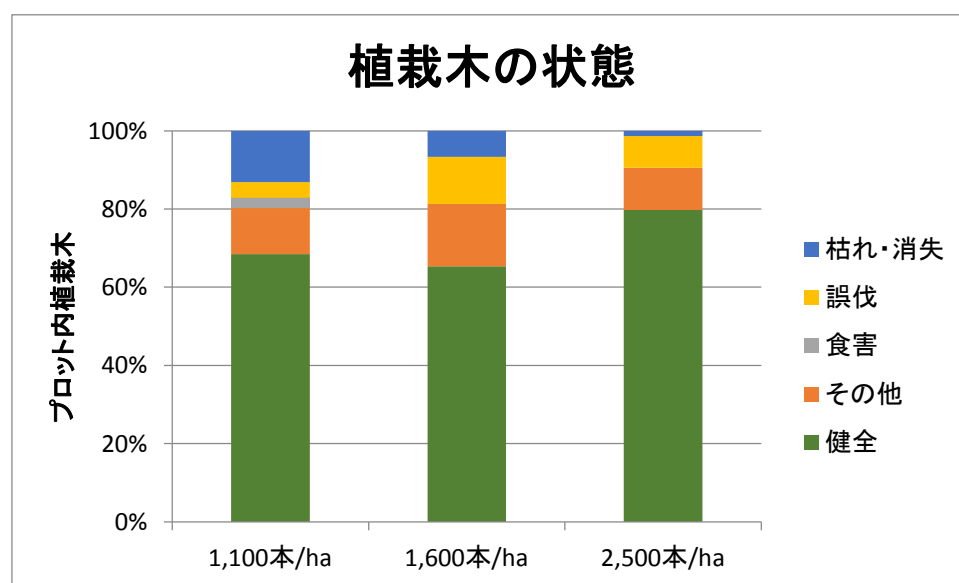
平成 29 年 8 月の時点では、優占している雑草木は植栽木の樹高を超えており、C 区分で

は 80%以上が C-4 であり、1,100 本/ha においては全てが C-4 という結果となった。本実証地は、雑草木に覆われている状態であった。

(6) 健全率と枯死率及び誤伐の発生状況

プロット内の植栽木について、健全率、枯死率等を植栽密度別に以下に示す。

植栽密度	1,100 本/ha		1,600 本/ha		2,500 本/ha	
プロット内 植栽本数(本)	76		75		74	
	(本)	(%)	(本)	(%)	(本)	(%)
健全木	52	68	49	65	59	80
その他	9	12	12	16	8	11
食害	2	3	0	0	0	0
誤伐	3	4	9	12	6	8
枯れ・消失	10	13	5	7	1	1



※その他は、曲がりや斜立、一部枯れ等、健全に生育していないものをまとめたもの

プロット内の枯死・消失本数については、1,100 本/ha で 10 本、1,600 本/ha で 5 本、2,500 本/ha で 1 本となっており、合計 16 本の枯死が確認された。また、プロット内の植栽木においては、誤伐は 1,100 本/ha で 3 本、1,600 本/ha で 9 本、2,500 本/ha で 6 本発生し、合計 18 本発生した。枯れ・消失以外については活着していると考えると 1,600 本/ha、2,500 本/ha で 90%を超える活着率であり、1,100 本/ha でも概ね 90%の活着率であった。

(7) 現地写真

	
施業前 (H27)	植栽後 (H28.1)
	
下刈り前 (H28.8)	下刈り後 (H28.8)
	
下刈り前 (H29.8)	下刈り後 (H29.11)